

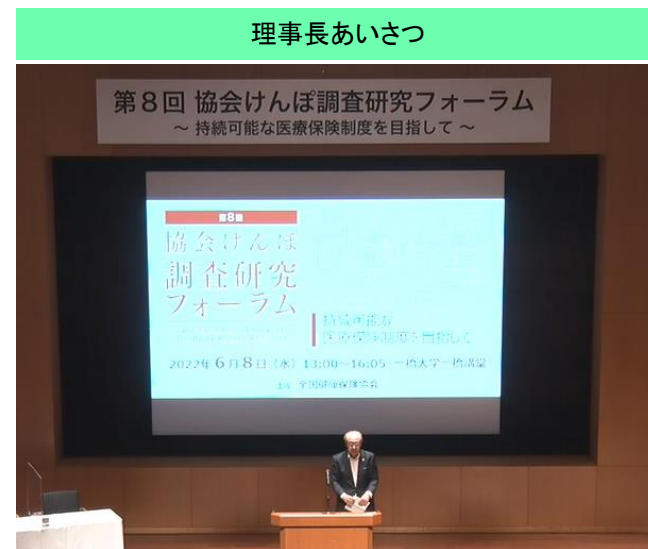
- 【日時】 令和4年6月8日(水) 13:00~16:00
- 【場所】 一橋大学一橋講堂・オンラインでの同時配信を実施
- 【テーマ】 持続可能な医療保険制度を目指して
- 【講演】

＜第1部＞ 外部有識者を活用した委託研究の中間報告

- ①慶應義塾大学 スポーツ医学研究センター 勝川 史憲 教授
「機械学習による生活習慣病の医療費分析および発症予測と特定保健指導の効果判定に関する研究」
- ②国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
グローバルヘルス政策研究センター 磯 博康 センター長
「生活習慣病の重症化ハイリスク者における医療機関受療による予防効果に関するコホート研究」
- ③上智大学 経済学部 中村 さやか 教授
「医療費の地域・医療機関・業種間の差異の実態解明:健康状態と治療の質を考慮した医療費適正化を目指して」
- ④京都大学大学院 医学研究科 福間 真悟 准教授
「エビデンスに基づく保険者機能の強化:ラーニング・ヘルスシステム」

(進行)全国健康保険協会 理事 岡村 智教

(コメンテーター) 法政大学 経済学部 菅原 琢磨 教授



外部有識者を活用した委託研究の中間報告の発表の様子



勝川教授

磯センター長

中村教授

福間准教授



菅原教授

岡村理事

<第2部> 協会けんぽ調査研究報告

- ①宮城支部 「要治療者の受診行動の有無による医療費推移等に関する研究」
- ②広島支部 「糖尿病治療中断者の背景及び再受診を促す方法の考察」
- ③福岡支部 「特定保健指導未実施者への健診前ナッジ通知の効果」
- ④本部 「協会けんぽの薬剤費の構造と薬価改定の影響に関する分析」

(講評) 東京大学 未来ビジョン研究センター 井出 博生 特任准教授

協会けんぽ調査研究報告の発表の様子



宮城支部

広島支部

福岡支部

本部



井出特任准教授

<ポスター発表>

- ①北海道支部 「歯周疾患と生活習慣病の関係に係る研究(4年度目)」
- ②秋田支部 「傷病名等に注目した時間外受診抑制のための検討」
- ③兵庫支部 「事業主(社長)と被保険者(従業員)の生活習慣の関連について」
- ④奈良支部 「健診受診の可否及び継続性に関する要因分析と効果的な勧奨方法の検討(第2報)」
- ⑤宮崎支部 「メタボリスクと生活習慣の業態別分析と特徴」

【会場参加者】 166名(外部参加者71名、協会職員95名)

【オンライン再生回数】 816回(令和4年6月16日現在)

【アンケート結果】 回答数:92名(会場参加者が対象)

○フォーラム全体の感想について

	非常に有意義	有意義	あまり意義なし	意義なし	計
人数	41	50	1	0	92
割合	44.6%	54.3%	1.1%	0%	100%

○発表内容に関するご意見

- ・ 得られた知見(業種差・地域差)は公表して、次の研究に活かせるようにしてほしい。
- ・ 外部有識者を活用した委託研究の発表は専門的過ぎた。もっと分かり易く説明してほしい。
- ・ 支部の調査研究報告において、各支部の保健指導・受診勧奨に関する創意工夫を知れて有意義だった。ナッジ活用が素晴らしい。
- ・ 薬価の話は面白い。広島支部の発表について、サンプル数が増えたら、また聞いてみたい。
- ・ 例年より学術的なレベルが一気に上がった。総時間が長くなっても良いので支部の取組と併せた発表を期待。

○発表時間等へのご意見

- ・ 発表時間が短く、皆さん早口。発表時間を長くしてほしい。
- ・ 外部有識者の先生方の中間報告は、もっと時間をかけて説明して良かった。
- ・ 全体では長時間だったが、個々の発表は興味深く、短く感じられた。

○その他のご意見

- ・ 協会以外の保険者と共同で、より大量のデータを分析してほしい。